

■ 1 はじめに

匠瑛市議会平成28年3月定例会が開会され、平成28年度当初予算案及び関係諸議案の御審議をお願いするに当たり、新年度における市政運営方針の大要と私の所信を申し述べさせていただきます。

▶ 新たなスタートの年

はじめに、本市は、平成18年1月23日に八日市場市と野栄町が合併し、新市匠瑛市が誕生して10年を迎え、一步一步、着実に歩みを刻んでまいりました。

今年度は、この節目の年を市民の皆様とともに祝いながら、市制施行10周年記念事業として、NHKのラジオ公開番組等、関係各位の御協力により様々な記念事業を実施してまいりました。

また、3月26日には、関係者及び本市に様々な分野で御功績のあった方をお招きし、「市制施行10周年記念式典」を挙げるほか、10月5日には、八日市場ドームを会場として、「大相撲匠瑛場所」を実行委員会が中心となって開催する予定となっております。

2期目の市政運営を担わせていただいてから、折り返し地点である2年が経過いたしました。私の掲げました「新生匠瑛」の実現に向けた具体的方策である「マニフェスト2014」については、21項目中8項目が達成済となっており、残りの項目についても達成に向け着実に進行しているところであります。

これまで、市民の皆様とお約束した魅力と活力ある「新生匠瑛」のまちづくりに向け、合併10年の節目の年を新たな出発点とし、初心を忘れず、全力を傾注していく所存であります。

議員各位並びに市民の皆様には、重ねての御支援、御協力をお願い申し上げます。

▶ 「新生匠瑛」へ邁進

さて、我が国は、日本経済再生のため、デフレからの脱却や経済成長の達成を目指したアベノミクスにより、労働者賃金の上昇や企業業績等の回復基調が見られるものの、地方への効果は、いまだ感じられない状況にあります。

また、急激に進む少子高齢化や社会保障費の増加、更には老朽化したインフラの再整備等、行政が抱える課題は山積みとなっております。

こうした急速に変化する社会情勢に対処し、市民の皆様からの多様なニーズに応えられるサービス体制を維持・向上させていくには、行財政改革に取り組み、効果的・効率的な行政体制や持続可能な行財政基盤を構築し、限られた財源と資源を最大限に活用していく必要があります。

平成28年度においては、新たに策定する、本市基本構想の目標を達成するために必要な施策・事業を総合的・体系的に集約した「匝瑳市総合計画後期基本計画」や次世代に向け急激な人口減少の歯止めと地域の活性化を図るために今後5年間の基本的な考え方を示した「匝瑳市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、更には将来にわたって持続可能な行政運営の実現を目的とした「第3次匝瑳市行政改革大綱」等に基づき、「新生匝瑳」のまちづくりに取り組んでまいります。

■ 2 財政状況と予算編成方針

次に、財政状況と予算編成方針について申し上げます。

本市の財政状況は、合併直後から行政改革大綱を策定し、職員数の削減等、様々な行政改革に取り組み、小中学校の屋内運動場改築事業や学校給食センター建設事業等の合併特例事業を実施しながらも、財政の硬直化の程度を示す経常収支比率は合併時に比べ大幅に改善し、財政調整基金が順調に積み上がる等、財政基盤の強化に努めてまいりました。

しかしながら、平成28年度の財政見通しでは、歳入面において、国勢調査人口の減少や合併算定替の段階的縮減期間に入ることから、普通交付税と臨時財政対策債は大幅に減少することが見込まれます。また、歳出面においては、公債費や特別会計への繰出金が増加することから、一転して厳しい財政状況となることが予想されます。

こうした状況を踏まえまして、平成28年度の予算編成においては、

- 1 総合計画の着実な推進
- 2 「新生匝瑳」の実現
- 3 行政改革の実行
- 4 枠配分方式の継続

の4つの基本方針に基づいて編成いたしました。

その結果、平成28年度匝瑳市一般会計予算案の総額は、平成27年度当初予

算と比較して、2億8,400万円（1.9%）増の148億6,400万円、また、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、病院事業会計を合わせた匝瑳市の予算総額は、前年度比3億7,857万3,000円（1.4%）増の280億8,147万2,000円としたところであります。

■ 3 施策の概要

次に、平成28年度において、重点的・戦略的に取り組む施策の概要を、私の政治姿勢を具体化するものとしてお示しした「マニフェスト2014」の5つの重点施策に沿って申し上げます。

▶ 重点施策1 健康・福祉・医療の充実～生きがいに満ち、笑顔があふれるまちづくり

第1に、重点施策1に掲げた「健康・福祉・医療の充実～生きがいに満ち、笑顔があふれるまちづくり」についてであります。

この施策では、市民一人ひとりが健康づくり・生きがいにおいて、充実した暮らしを営むことができる環境づくりを推進します。

高齢者がこれまで培ってきた経験や知識を生かせる場の提供や社会参加への支援及び障害者福祉サービス基盤の充実を図ります。

また、子育て家庭を支援するサービスの充実と相談体制の強化を図るとともに、地域資源を活用しながら子育てを支える仕組みづくりを推進します。

平成28年度におきましては、市民の健康づくりや疾病予防を積極的に推進するとともに、妊娠・出産・育児その他健やかな子育てを支援するため、「匝瑳市健康増進計画」を策定し、現状分析に基づいた効果的な施策を計画的に実施します。

匝瑳市民病院につきましては、最重要課題である医師確保対策について、引き続き取り組んでいくとともに、診療体制の充実と病院事業の健全化に努めてまいります。

新公立病院改革プラン及び市民病院の建替整備につきましては、地域の中核病院としての機能を担っていることから、将来の市民病院のあるべき姿を熟慮し、計画策定を行ってまいります。

また、地域医療の充実のため、本年2月1日から訪問看護ステーション及び居

宅介護支援事業所を介護老人保健施設そうさぬくもりの郷から市民病院内へ移動し、医療との連携強化を図ったところであります。

今後、ますます増加が見込まれる在宅医療への取組として、新年度において訪問看護ステーションサテライト（出張所）を野栄福祉センター内に設置し、安心した在宅療養生活の実現を目指します。

介護老人保健施設事業では、訪問看護ステーション及び居宅介護支援事業所の移動に伴い空いたスペースを利用し、デイサービス事業の拡充に努めます。

▶ 重点施策2 地域経済の活性化～活気に満ち、はつらつとしたまちづくり

第2に、重点施策2に掲げた「地域経済の活性化～活気に満ち、はつらつとしたまちづくり」についてであります。

この施策では、各種産業の生産・経営基盤の強化支援を図ります。

また、農林水産業と商工業、観光の各分野及び企業間の連携強化を図り、新たな地域の魅力を創出していくための取組を推進します。

平成28年度におきましては、現在、JR八日市場駅前に整備を進めております、観光案内所や農産物の販売コーナーを備えた「そうさ観光物産センター^{めぐ}の里」が4月1日にオープンいたします。この施設を観光・地域交流の拠点の一つとして、本市の魅力を市内外に発信していくとともに、多くの方が訪れる施設になることを目指し、地域の活性化を図ってまいります。

また、米の生産調整やT P P大筋合意に伴い増加が見込まれる外国産米穀に対応するため、需要に応じた米生産を推進し、持続可能で安定した農業経営の支援を図るとともに、新規需要米等の作付けを積極的に推進します。

さらに、植木振興対策として、「植木のまち匠瑳」をPRするため、豊富な生産量や生産技術等を様々なイベントやメディアを通じて広く国内外に情報発信し、「日本一の植木のまちづくり」を推進していきます。

▶ 重点施策3 都市基盤整備の推進～自然と共生し、快適で安全なまちづくり

第3に、重点施策3に掲げた「都市基盤整備の推進～自然と共生し、快適で安全なまちづくり」についてであります。

この施策では、資源循環型社会に向け、ごみの減量化、再資源化への取組の推進

と美化活動の促進、環境への負荷を抑制する処理体制の強化を図ります。

また、公園や生活道路等、都市基盤の計画的な整備を推進するとともに、誰もが安心・安全に暮らしていける快適な住環境づくりを推進します。

さらに、災害等から市民の生命と財産を守るため、総合的な防災体制の強化を図るとともに、防犯対策について関係機関と連携し、地域ぐるみで見守る体制づくりを推進します。

平成28年度におきましては、津波対策として、本市では野田地区今泉浜に次ぐ2基目といたしまして、現在、共興地区長谷浜に整備を進めております「津波避難タワー」の本体工事に着手し、防災施設の充実を図るとともに、防災意識の醸成、地域の防災力の向上を図ってまいります。

また、公共交通機関の充実につきましては、引き続き路線バスの維持や市内循環バスの利便性の向上に努めるとともに、循環バスの利用が困難な高齢者に対し、日常生活の交通手段として、タクシーを活用した地域交通利用料助成事業の周知に努め、公共交通機関の利用促進を図ってまいります。

なお、市役所北側に整備を進めておりました合併記念公園の名称につきましては、市民からの公募により「そうさ記念公園」に決定し、3月26日の市制施行10周年記念式典の当日に竣工式を行う予定であります。

市民の憩いの場として、有効に活用していただきたいと考えております。

▶ 重点施策4 コミュニティの育成と交流活動の促進～個性豊かに学び、人々が輝くまちづくり

第4に、重点施策4に掲げた「コミュニティの育成と交流活動の促進～個性豊かに学び、人々が輝くまちづくり」についてであります。

この施策では、児童生徒の「生きる力」をはぐくむため、社会の責任ある一員として必要な資質を養う「心の教育」を推進するとともに、情報化・グローバル化の進展に対応した教育と一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな指導・支援体制の強化を図ります。

また、地域の連帯感の更なる醸成と地域づくり活動の活性化を図るため、コミュニティ施設の整備や各種事業の支援、組織の育成を実施することにより、市民の地域活動への参加を促進します。

平成28年度におきましては、経年による体育館の著しい老朽化のため整備を進めております「吉田小学校屋内運動場改築事業」の本体工事に着手し、教育環境の更なる向上を図ります。

また、スポーツ施設の耐震改修事業として、生涯スポーツ、レクリエーションの活動拠点でもあり、地域の指定避難所でもある「のさかアリーナ」の天井部分の耐震改修工事を実施し、安全性の確保を図ります。

▶ 重点施策5 市民参加による市政の推進～市民と行政が協働し、市民が主役のまちづくり

第5に、重点施策5に掲げた「市民参加による市政の推進～市民と行政が協働し、市民が主役のまちづくり」についてであります。

この施策では、市民が主役のまちづくりを推進するため、市民が市政に参加する機会を充実させるとともに、市民・地域・行政がそれぞれの役割と責任を認識しながら実践する地域づくりを推進します。

さらに、地域で活動する様々な組織との連携を図り、市民や団体、企業等が積極的にまちづくり活動に参加していく環境づくりを推進します。

また、効果的かつ効率的な財政運営を推進して、健全なまちづくりと市民サービスの向上を図ります。

平成28年度におきましては、市民協働を推進するため、協働における基本的な考え方や方向性を示す「匝瑳市市民協働指針」や、今議会で御審議いただき制定を予定している「匝瑳市市民協働推進条例」に基づいて、地域における様々な課題を共有し、その解決に向けて連携・協力して取り組んでいきます。

また、今後、厳しい財政状況となることが予想され、持続可能な行財政運営を行っていくためには、歳入に見合った歳出構造とする財政基盤を計画的に確立していくことが必要であることから、新たに策定する「第3次匝瑳市行政改革大綱」及び「匝瑳市財政健全化計画」に基づいて、更なる財政運営の健全化に向けた取組を推進していきます。

■ 4 むすびに

.....
以上、新年度を迎えるに当たり、市政運営に対する基本的な考え方をお示しし、

重点的・戦略的に取り組む施策の概要とともに、私の所信を申し上げます。

本市の強みである「自然・歴史・文化」を生かし、市民の皆様と行政が強いパートナーシップの下で、将来都市像である「海・みどり・ひとがはぐくむ 活力あるまち 匝瑳市」を築き、次世代へ継承していくため、戦略的にスピード感を持って「新生匝瑳」のまちづくりに邁進してまいります。

議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力、御支援を心からお願い申し上げます。次第であります。